

氏 名 うめ むら か 代 梅 村 佳 代



所 属 ・ 職 名 学校教育講座（教育学・教育史）・教授

研究室電話番号 0742-27-9258  
（ダイヤルイン・FAX 兼用）

電子メールアドレス umemura@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 名古屋大学大学院教育学研究科修士課程修了（1968）  
博士（教育学）（名古屋大学 1992）

所 属 学 会 等 日本教育学会，教育史学会，日本教育史研究会，全国地方教育史学会

専 門 分 野 教育学・教育史

#### 研究と教育について

日本の近世社会における民衆の子どもたちの文字学習について、寺子屋の実態の解明と近世社会における各種の学校や教育機関の理論的な位置付けを考察してきた。近年は、近世社会において多大に発刊された学問書や出版書の内容の検討を通して民衆の教養・文化の系統と重層的な構造について解明を試みている。近世社会の教養体系を明らかにすることにより、近代公教育の成立による近代の学校教育の知識や認識の体系との異質性と連続性が解明しうるのである。

大学における教育の意義は、高等教育すなわち学問の本質である真理の探求を通して人間としての自己の確立と地球的規模の社会の課題を把握・認識することにあると思う。幅広い教養の獲得をもとにして、専門性を深め、「人間としていかに生きるか」を自己に問うことにあるともいえる。講義や演習による基礎の修得をもとに卒業論文による学びの集大成はとても大切であり重視している。毎年、研究室の論文集『奈良教育史研究』を発刊し、すでに 11 号に至った。今後も発刊を継続し、学生・院生の成長の場にしていきたい。

#### 主 な 研 究 業 績

- ・『日本近世民衆教育史研究』梓出版社 1991 年 単著
- ・『日本民衆教育史』梓出版社 1996 年 共編著
- ・『近世民衆の手習いと往来物』梓出版社 2002 年 単著
- ・「近世奈良町の人口・家族と子ども - 奈良南半田西町を中心として - 」『奈良教育大学紀要』第 52 巻 第 1 号 157-169 頁 2003 年
- ・『地域の教育の歴史』川島書店 2003 年 共編著

#### 主な授業担当科目

教育基礎論 A(教育の理念・思想)(学校教員養成課程)，教育基礎論 (教育の歴史)(学校教員養成課程・総合教育課程)，道德教育の研究 B(学校教員養成課程・総合教育課程)，教育史特講(学校教員養成課程・総合教育課程)，生涯教育史特講(学校教員養成課程・総合教育課程)

学 会 活 動 教育史学会理事，教育史学会機関誌編集委員，全国地方教育史学会全国幹事

社 会 的 活 動 『三重県史』通史編（近現代）編さん委員

講 演 の テ ー マ